



松小だより

10月号
高松市立松島小学校

「実りの秋～二学期のスタート～」

朝夕とても涼しくなり、一気に秋の訪れを感じます。10月は学校生活において、1年間の折り返し地点であり、1学期のまとめと2学期のスタートの月でもあります。学期末懇談会をはじめ、終業式・始業式、フリー参観、音読カップ、教育文化祭・遠足・校区一斉清掃など、学校に関係した行事が多くありとても充実した月となります。いろいろな行事を通して、児童一人一人に学習面や生活面においてしっかりとした力をつけていきたいと思っています。



中学校運動場での練習

さて、秋は何となく心に落ち着きを感じさせる季節であり、スポーツや芸術・読書など様々な活動に適している時期といえます。現在、学校では10月16日(木)にあります陸上記録会に向けて朝と放課後に5・6年生のおよそ半分の児童が練習に参加し、自らの体力アップと記録向上を目標にがんばっています。先生方も全職員が交代しながら指導にあたっています。陸上記録会での全種目を全員がある程度練習した後、自分に合った希望の種目を選んで練習しています。練習を積み重ねていくなかで、種目の難しさを感じたり、時には筋肉痛になったりしながらも、記録が伸びた時やできるようになった時はとてもうれしそうにしていました。継続して練習し記録に挑戦することは、体力や記録のアップはもちろん、粘り強さや精神力など人間的に一回りも二回りも大きく成長できるよい機会だと思っています。始業式の際には、記録会に参加する児童の壮行会を行い応援する予定です。

「防災の日～子どもたちにつけたい力～」

8月下旬から9月上旬にかけて、4年前に松島校区が大きな高潮被害にあったことや命の大切さ・家族の絆・地域の方々との連携などの大切さを忘れないことをねらって一連の防災関係の学習を実施しました。

- ①8月29日避難訓練の事前指導(ビデオ視聴と学級指導)
- ②9月1日消防署・地域の方々との連携しての避難訓練
- ③9月5日8.30メモリアル集会とボランティア清掃

集会当日は、消防署高嶋様、連合自治会長熊様、学校評議員渡邊様においでいただき、災害に対する備えや4年前の被害の体験記などのお話を頂きました。各学年からは、4年前の大変だった様子を発表したり、自分たちでもできること、家族で申し合わせたことなどの発表があり、どの学年もメモリアル集会にふさわしい内容のものばかりでした。今後もこのことを受け継ぎ、災害に備えられようしていきたいと考えています。



8.30メモリアル集会

「読書の秋～読書週間に向けて～」

秋の夜長に読書はいかがですか？私のお勧めの本を紹介します。陸上練習にあわせて考えると「一瞬の風になれ」(佐藤多佳子著)をお勧めします。中学までサッカー少年だった主人公の高二が、親友の天才スプリンター連の影響を受け高校の陸上部に入部する。天性の身体能力と努力によって短距離選手になっていく話です。すがすがしさを感じるこの小説は、三冊にわたる長編ですが読み手を一気に引きつけ決して長いとは思いません。本屋大賞にも選ばれ、今年の2月にはテレビのドラマにもなったそうですが、やはり、原作を読むのが陸上競技場のトラックを頭の中に創造的にイメージできてとてもいいと思います。

今年の読書週間は10月27日(月)から11月7日(日)の予定です。学校での取り組みはあらためて後日お知らせします。

